

矢吹町が<sup>はとり</sup>羽鳥湖から水を引くようになるまで

年	おもなできごと	県内のおもなこと
明治のはじめころ	・星吉右衛門 <sup>きちう えもん</sup> は近くの村人と力を合わせ万歳堰（まんざいせき）を作った。	
1879年 (明治12年)	・士族開墾（しぞくかいこん）はじまる。 ・八まん原・十軒（けん）原で開こんを始めた。（15家族）	安積疎水 <sup>あさかそすい</sup> 工事はじまる。
1880年 (明治13年)	・水が足りなくて米を作る仕事はできなかった。 ・畑作を中心に作ったが、土地が悪く作物は実らない。	
1885年 (明治18年)	・星吉右衛門 <sup>きちう えもん</sup> は、 <sup>はとり</sup> 羽鳥から矢吹が原に水を引くことを考えた。 ・たくさんのお金がかかる工事なので、県でとりあげてくれなかった。	
1891年 (明治24年)	・大和久 <sup>おわぐ せき</sup> に堰を作った。	東北本線全線が開通する
1897年 (明治30年)	・前の計画を变こうして猪苗代から水を引くことを計画する。 ・目的は達せられない。	1894年(明治27年) 福島に電とうがとまる。
1908年 (明治41年)	・星吉右衛門 <sup>きちう えもん</sup> 死す。（78歳）	1914年(大正3年) 猪苗代発電所完成。
1915年 (大正4年)	・地元の人たちが相談して開田の計画を立て県に願いでる。	
1916年 (大正5年)	・矢吹が原を開たくするために、ちょうさが行われるがとりあげてもらえない。	
1919年 (大正8年)	・さいど願いでるが実げんしなかった。	
1924年 (大正13年)	・農林省土地利用計画が実しされる。	
1927年 (昭和2年)	・大きぼ開こん計画はじまる。	
1930年 (昭和5年)	・計画完成するが、水源地質の関係で計画へんこうする。	1936年（昭和11年） 弥栄など開たくはじまる。
1941年 (昭和16年)	・ <sup>はとり</sup> 羽鳥ダム工事はじまる。	15年間 1945年 矢吹飛行場など空しゅうをうける。 と中太平洋戦争のため工事が中止されたこともあった。
1956年 (昭和31年)	・ <sup>はとり</sup> 羽鳥ダム完成する。	